

河本 洋一

『ビートレカード®』を使ってリズム遊びを楽しもう！

1. ビートレカードとは？

私はこれまでに口などを使って様々な音を使いながら音楽を奏でるヒューマンビートボックスの研究をしてきました。(科研費基盤 C 26370193, 19K02799, 23K02488) そして、この音楽表現の日本における概念規定や国内での拡がりについて研究する中で、ヒューマンビートボックスは主体的で自由な表現が可能でジャンルになり得ることを確信しました。この音楽表現は楽器が無くても身一つですみますし、高度なテクニックを身に付けていなくても楽しめます。ただ、初心者の人たちにとっては、どのように音を口から発したらよいか、どのようにしてリズムとしてのまとまりをつくっていったらよいかを習得するには、YouTubeなどで演奏を公開しているビートボクサー（ヒューマンビートボックスを演奏する人）の比較的高度な演奏を真似るしか方法がありませんでした。

そこで私は初心者でも遊び感覚でヒューマンビートボックスに親しめるような教材を開発することにしました。ヒューマンビートボックスは打楽器の音を模倣したオノマトペから練習を始めることが多く、このオノマトペの文字のデザインを工夫することで、言語で指示するのではなく直感的な発音やリズムの構築ができるのではないかと考えたのです。

この仮説に基づいて試作されたのが、ヒューマンビートボックスをトレーニングするカード＝略して『ビートレカード』です。このカードは、ヒューマンビートボックスで使われる基本的な音（キックドラム、ハイハットシンバル、スネアドラム）を表したオノマトペの文字を単に活字のフォントで示すのではなく、歪ませたり、形を尖らせたり、色の濃淡を付けたりすることによって、その文字が表す音（おん）以上の情報を読み手に与え、ヒューマンビートボックスの音を直感的に感じてもらえるように工夫してあります。現在、このカードは特許庁への申請が認可され、2023 年の秋頃には商標（印刷物・カードゲーム）及び特許が登録される予定です。

2. ビートレカードをどのように使うのか

ビートレカードに細かなルールはありません。トランプのように表面には同じ柄が印刷されており、裏面にはビートを表した様々な文字が描かれています。このカードをシャッフルして並べ、裏返すことで偶発的なリズムの並びが出来上がります。このカードに描かれている文字をそのまま言語音で発してもそれなりのビートに聞こえますが、この文字から感じられるイメージをできるだけ口で具体的

に表現することで、よりヒューマンビートボックスらしい演奏になります。

このカードは第 1 次の試作品の段階で、北海道檜山北高等学校の音楽の授業で使用感を確かめてもらうための実証実践を行いました。この授業では、事前にビートレカードを郵送しておき、2 回の授業の中で生徒に自由に使って表現してもらいました。そして、3 回目の授業の時に私とビートボクサーすらぶるために訪問し、生徒のビートづくりに合わせてすらぶるために演奏に絡んでいくというまとめで授業を終えました。

生徒からは、「同じビートレカードでも人によって出てくる音が違う」「毎回違った組み合わせになるので、むずい（原文のママ）」といった感想が寄せられ、このカードを使ったリズムづくりについては、9 割の生徒が「楽しい」残る 1 割も「やや楽しい」と回答しました。(n=14) その一方で、「ビートボックスをすることを恥ずかしがる生徒もいると思うので、そこをどうしたらよいか考えた方がよい」「カードの表記に応じた発音の仕方（調音点）を示した方がよい」といった声もありました。

この実証実践の様子は右記の QR コードから限定公開でご覧になれます。



3. ビートレカードの今後

このカードはゲーム感覚でヒューマンビートボックスの世界に親しんでもらうことを意図して作られました。発祥はビートボックスというリズムボックスの模倣に始まり、アメリカのストリートカルチャーとして根付いたヒューマンビートボックスですが、今や模倣文化ではなく独自のジャンルとして急速に発展しています。従来のクラシカルな楽器や声楽ももちろん楽しめますが、今まさに変化しつつある音楽表現をリアルタイムに感じ、身一つで表現していくこともとても素晴らしい楽しみだと考えます。

手本を示す (Push) のではなく、演奏者（児童生徒）の内側に秘めたリズム感や音楽性を引き出す (Pull) ことがヒューマンビートボックスの面白さであり、音楽表現や音楽教育における可能性でもあったと考えます。そのためのアイテムの一つとして、ビートレカードが活用されるようさらに改良を重ね、ひいては全国の初心者ビートボクサーや学校教育の現場でも使えるようなアイテムになるよう改良を重ね、近日中の発売を目指します。

研究室 HP <https://www.humanbeatboxlab.jp/>

ご意見ご感想もこの HP 内のフォームからお願いします